

【担当教員名】 宮岡 洋三、川上 心也	対象学年	1	対象学科	理学-1 (前半)・作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修・必修
	単位数	1	時間数	30・30

【<概要>】

本科目では、「感覚機能、運動機能、心臓・循環機能、呼吸機能、消化機能」について実験的に学ぶ。基礎資料（教科書と生理学サイト、下記）からの情報収集、自分自身や友達を対象とした実験、そして採取したデータの適切な取りまとめを通して生体機能の理解を深める。

【<学習目標>】

1. 本学の「生理学サイト (<http://www.nuhw.ac.jp/physiol/>)」にアクセスし、実習資料を入手できる
2. 入手した実習資料を基に、実習遂行に必要な知識を整理できる（必要に応じて、図書館などで参考図書に当たり、資料を適宜加工できる）
3. 実習に参加して、学習項目に関する有効なデータを採取できる
4. 採取したデータを基に実験結果をまとめ、その生理学的な意味を考察できる
5. まとめたデータへの検討を通して、自分や友達の結果・考察に対してコメントできる

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1、2	実習ガイダンス		実 習（宮岡、川上）
3～5	体性感覚：表面感覚 皮膚感覚点の検索		実 習（宮岡、川上）
	体性感覚：深部感覚 重量弁別の実験		実 習（宮岡、川上）
6～8	体性感覚：表面感覚 二点弁別閾値の測定		実 習（宮岡、川上）
	呼吸機能：肺活量・1秒率の測定		実 習（宮岡、川上）
9～11	循環機能：血圧の測定		実 習（宮岡、川上）
	循環機能：心電図(ECG)の記録・解析		実 習（宮岡、川上）
12～14	運動機能：表面筋電図(EMG)の記録		実 習（宮岡、川上）
	消化機能：唾液分泌量の測定		実 習（宮岡、川上）

【使用図書】

<書名>

<著者名>

<発行所>

<発行年・価格・その他>

教科書  
(必ず購入する書籍)

講義で使用した教科書を持参する

参考書

本学図書館には、生理学に関する各種書籍・ビデオがあるので、自主的に参考にして欲しい。

その他の資料 (必須)

「生理学サイト」 (<http://www.nuhw.ac.jp/physiol/>)

【評価方法】

評価は試験の成績に基づき、これに出席状況を加味して決める

【履修上の留意点】

実習室ならびに実習用具の制約から、上記の「授業計画」にある項目順序が変更になる場合もあるので、予め承知しておいて欲しい。

なお、客観性と公平性の確保が困難な「実習態度」は評価の対象としないが、明らかに他人の迷惑となっている場合には、退室を求めることがある。